

令和7年7月10日（木）  
岡谷市男女共同参画審議会

## 第1回岡谷市男女共同参画審議会

# 会 議 録

### 【出席者】

#### ○委員（10名）

鮎沢 美知 委員、赤間 公子 委員、有賀 メアリー委員、今井 郁乃 委員、  
柏原 明彦 委員、北村 隆雄 委員、熊井 卷文 委員、高橋 祥二 委員、  
濱 喜一郎 委員、矢崎 京子 委員、

（※欠席者…梅垣 つね 委員、小口 まゆみ 委員、藤森 賢二 委員、  
アドバイザー長野県男女共同参画センター 血脇 秀明 所長）

#### （事務局）

地域創生推進課長 日岐 充利  
地域創生推進課主幹 土屋 文子

# 第1回岡谷市男女共同参画審議会 会議録

令和7年7月10日(木)  
午前10時～午前11時20分  
市役所6階 605会議室

## ●市民憲章唱和

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

皆さんおはようございます。

毎日暑い日が続いていますが、皆さんお元気でしたでしょうか。

今回初めての方もいらっしゃいますが、引き続きご審議いただく方がほとんどですので、よろしく願いいたします。

昨年度の皆様の審議を経て、第7次岡谷市男女共同参画計画が、策定できました。基本目標では、施策別にすっきりとまとめることができました。審議内容もそれぞれ明文化できたと思います。

今年は5ヵ年計画の実施初年度ということになります。

本日は市から第7次岡谷市男女共同参画計画について、改めて説明を受けます。進め方などについて、ご審議いただければと思います。

審議が円滑に進められますようよろしくお願い申し上げます、挨拶といたします。

### 3 自己紹介

・名簿順に自己紹介。

\*梅垣 つね 委員、小口 まゆみ 委員、藤森 賢二 委員、アドバイザー 長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”の血脇所長 欠席

・事務局

### 4 議事

#### (1)「令和6年度男女共同参画推進事業実施状況」及び「令和7年度男女共同参画推進事業実施計画」について

会長	それでは本日の議事に入ります。 次第に従いまして、議事(1)「令和6年度男女共同参画推進事業実施状況」及び「令和7年度男女共同参画推進実施計画」について、事務局から説明をお願いします。
主幹	《令和6年度男女共同参画推進事業実施状況及び令和7年度男女共同参画推進実施計画についての説明》⇒内容省略 《男女共同参画計画 おかやプランⅦの概要の説明》⇒内容省略 (資料1, 資料2)

会長	<p>ただいま、事務局から説明のありました説明について、ご意見、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>《特になし》</p>
会長	<p>審議会として、「令和6年度男女共同参画推進事業実施状況及び令和7年度男女共同参画推進事業計画」について、市から報告を受けたということによろしいでしょうか。</p>

## (2) 男女共同参画に関する岡谷市の現状について

会長	<p>次に進みます。議事(2)「男女共同参画に関する岡谷市の現状」について、事務局から説明をお願いします。</p>
主幹	<p>《男女共同参画に関する岡谷市の現状について 説明》⇒内容省略(資料3)</p>
会長	<p>ただ今、事務局から説明がありました事項について、ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>いつものことながら、女性のなり手がなくなることになってしましますが、今のこの各課の取り組み状況のところを見て、審議会の女性の登用の表ですけど、この決め方というのはどのように構成して示しているのでしょうか。</p>
主幹	<p>各審議会におきましては、団体からの推薦という形で委員を選出して決定していることがほとんどです。そのため、団体の会長が委員となるケースが多く見受けられます。男性が多いという状況も見られますが、岡谷市では、組織の構成にとらわれず、各団体の組織状況に応じた人材の中から推薦をいただくよう、また、女性の積極的な推薦をお願いするように、各課に依頼しております。</p>
会長	<p>例えば、空き家等対策協議会や流域下水道総合地震対策会議のように、市民生活に直結する課題を扱う協議会において、近所の空き家問題や火災の危険性といった具体的な困りごとを抱える市民、特に女性からの意見が十分に反映されない状況が生じているのではないのでしょうか。</p> <p>協議会において、特定の属性、例えば性別などの委員が極端に少ない場合、本来50パーセント程度いることが望ましいところ、例えば委員の構成比率が著しく低い状況が見受けられます。このような場合、その意見が十分に反映されないまま意思決定が進んでしまう可能性があります。</p> <p>そこで、委員の選定方法を見直すことが重要だと考えます。例えば、各グループや関係部署内で協議を行う際に、「この人が適任ではないか」といった候補者を積極的に選出する、といった方法が考えられます。選定方法を工夫することで、委員の多様性が確保され、より幅広い視点からの意見が反映されるようになり、結果として協議会の活性化や課題解決に繋がるのではないかと期待しております。</p> <p>もともと、委員の構成比率が低い状況にあるため、現状のままでは、いつまでも課題の解決が進まないように感じられますが、いかがでしょうか。</p>

課長	<p>か。</p> <p>本市では男女共同参画推進協議会を設置しており、本日の報告内容と同様の事項について、各担当課の職員にも報告を行っております。</p> <p>会長からご指摘のありました選任方法につきましては、各団体がそれぞれの基準で構成員を選任しております。もちろん、共通する団体から推薦を受けている委員もおりますが、委員の重複を避けつつ、一般公募の形式も取り入れて選任するよう、各担当課において努力しております。</p> <p>本日お話しいただいた内容も踏まえ、各担当課に対し、委員の選任にあたっては、会長がおっしゃるように、女性の意見がより反映されるよう努めることの重要性をお伝えし、引き続き周知徹底を図ってまいります。</p>
----	---

### (3) その他

会長	<p>続いて、その他について、事務局から何かあればお願いします。</p>
主幹	<p>特にありません。</p>
会長	<p>せっかくの機会ですので、計画に対しての要望や今後の進め方等、委員さんから何かご意見があればお願いします。</p>
A委員	<p>教育分野、特に中学校における学習についてお伺いしたいのですが、学生たちの間での意識変化などに対応することは大変でしょうか。</p> <p>具体的には、性別によるいじめや、地味的な考え方などについてです。</p>
B委員	<p>中学校においては、特に最近、男女間にいわゆるジェンダーの面で格差があるとはあまり感じておりません。今いる中学校の生徒会長を務めているのは女子生徒であり、代表者を決定する際などにおいても、むしろやる気のある生徒が積極的に参加する傾向が見られます。それは男子がやるとか、それは女子がやるといったことは、今、だいぶ感じられにくい状況となっていると思います。</p>
C委員	<p>委員の皆様の年齢層を拝見しますと、私を含め、非常に高いと感じております。男女平等を推進していく上で、若い世代の意見を反映していくことは重要です。現在の日本の文化には、依然として「男尊女卑」の意識が一部の男性に残っているのではないのでしょうか。このような状況下で、こういった方々の意見を聞いても、十分な効果が得られないと考えられます。若い世代の意見を取り入れ、それを反映させていく方が、良いと私は思います。そこで、今年度は既に決定しておりますが、来年度以降の委員の構成において、若い世代の割合を増やすことをご検討いただければと思います。理想としては、男女比率を5対5にするだけでなく、高齢者と若者の比率も5対5に近づけることを提案いたします。これは実現が難しい提案かと存じますが、ご参考にしていただければと思います。</p>
会長	<p>現在、委員は2期目の方々を中心に、今年度で任期が終了する方もいらっしゃいます。次期委員の募集にあたっては、ぜひご提案の趣旨に沿うよう、よろしく願いいたします。</p>

課長	<p>様々な立場からご参画いただいている団体の皆様には、先ほどもお伝えした通り、各担当者を通じて、団体の皆様が抱える課題、特に若い人材の確保の難しさについて、お話を伺っております。担当者とも連携し、努力してまいります。また、一般公募による新たな人材の登用も積極的に進め、多様な意見を聴取できる体制を構築していきたいと考えております。現時点で具体的な回答はできませんが、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>長年の経験から得られる知見も重要ですので、世代や経験のバランスを取りながら、意見交換を深めていくことが望ましいと考えます。現在、多くの委員が職務を抱えており、会議への参加が難しい場合もあるかと存じます。そのような状況を踏まえ、柔軟な参加方法や、意欲のある若い人材の発掘に努めることも有効かと存じます。他に何かご意見がございますか。</p> <p>せっかくですので、皆様一言ずついただけますでしょうか。</p>
D委員	<p>一般公募、特に若い世代の方々への参加を促すことは重要だと考えます。商業分野では比較的若い方や女性が多い傾向にありますが、店舗運営は少人数で行われている場合が多く、店舗を閉めてこないで参加できないので、参加のハードルが高いことも事実です。それでも、一般公募を通じて若い方々に参加いただき、意見を述べる場があることは大事だと思うので、そういったふうに変えていった方がいいと思います。</p>
C委員	<p>会議の時間帯について、夕方や夜間に設定することで、若い方の参加が促進される可能性もございます。また、青年会議所や商工会議所など、若い世代が多く所属する団体への声かけも有効かと存じます。来年度から段階的に、将来的には若い世代の委員が半数程度を占めるような構成を目指していただけるようお願いしたいと思います。</p>
E委員	<p>若い世代の参加促進について、昼間の会議への参加が難しいという現実、そして、委嘱ということになっていきますので、例えばですが、特定の企業や業種から、意欲のある方を「一本釣り」で推薦していただくといった形で、土曜日などに意見交換会を設定することも、参加のハードルを下げる一助となるかもしれません。ただし、こうした取り組みには、市の職員の方々の負担増といった課題も想定されますが、まずは、我々のようなメンバーが入って、どのように考えているのか等の意見交換をしていくようなことを計画されたらいかと思います。現在、このような若い人たちから意見を求める仕組みはあるのでしょうか。</p>
課長	<p>審議会においては、様々な立場の方々の意見を平等に反映させるという経過があり、その中で一定の制約も生じているかと存じます。皆様のご意見を踏まえ、徐々に新しい意見を取り入れつつ、推薦制度の導入についても、公平性を保ちながら、担当課で検討してまいります。審議会に最も適した形での推薦制度の導入を目指しますので、参考にさせていただきます。</p>
C委員	<p>若い世代の参加促進について、様々なご意見が出されました。会議の時間帯を夕方や夜間に設定することで、働き盛りの若い世代は比較的参</p>

F委員	<p>加しやすい、働いているかたが多いので昼間だと女性の参加が難しくと思う中で、民生委員も今年改選で委員の選定をすすめているのですが、現在、岡谷市では14地区に分けて活動しており、地区会長14名のうち女性は2名です。今後、女性の地区会長を増やすなど、女性の参画を促進していきたいと考えております。また、委員の高齢化や固定化も課題であり、私自身も6年間委員を務めてまいりましたが、より若い世代に交代し、新しい意見を取り入れていくことが重要だと感じております。</p> <p>若い世代の参加について、私が所属する労務対策協議会では、会長が持ち回りで選出され、2年ごとに交代します。私も前回副会長を務め、今年度会長となりましたが、委員の多くが60歳以上であり、若い世代の参加は容易ではありません。対策協議会の理事も男性が中心であり、女性比率は0%です。こうした状況から、水面下での働きかけも含め、企業からの若い世代や女性の登用を促進していくことが今後の課題だと考えております。</p>
B委員	<p>本日のお話をお伺いして、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）という話がありましたが、子どもたちの中に、いわゆる性差で自分の役割をある程度決めてしまうという意識は小中学校の中では現在、固定化しつつあるかという、あまりないような気がします。以前の方が男子は元気で女子はおしとやかにということもありましたが、今はあまりそういったことはなく垣根はどんどん取り払われてきているかなと思います。ただ、無意識のうちに多分自分は、こんなふう生きていくんだらうとか、あるいはこういうことは男子がやった方がいいんだらうとか、これは女子に任せておけばいいんだらうなどということが、やはり小中学校の集団生活の中で生まれているということも同時にあるのかなと。その辺りをきちんと掘り起こしていけるような、それは道徳の授業であったり、あるいは人権教育の授業であったりということを一気にやるよりも、地道に継続的にやっていくことが小中学校の役割なのかなと思いつつ聞かせていただいた。</p> <p>それを継続して行って、その子たちが大人になっていったときに、より開かれているか、開かれていく形になるのかと思います。</p>
G委員	<p>私は栄養士会としても様々な会議に出席しております。昼間や夜間といった時間帯に関わらず、勤めている方が会議に参加することは容易ではありません。栄養士会の会員のほとんどは女性であり、今後も女性の参加者が増えると考えられます。若い世代が参加しやすい時間帯が良いという意見もありますが、高齢者と若者が半々で構成される場合、高齢者にとっては夜間の参加が負担となることも考えられます。私自身は昼間の会議の方が参加しやすいと感じております。雨の日の夜間運転が難しくなるように、時間帯の設定には様々な配慮が必要かと存じます。男女半々の構成は理想的であり、女性が半数近くを占めることも望ましいと考えますが、状況もいろいろあると思います。</p>
A委員	<p>大学での授業では、結婚に関する話し合いの中で、料理などの家事を期待する男性学生もいますが、そのような考えを持つ学生は徐々に減少し、より開かれた考えを持つ学生が増えていると感じます。また、別の課題ですが、シングルマザーが会議に参加しやすくなるよう、子どもを見てくれる制度があるといいなと思います。自分も子どもが小さい頃にこのような制度があればいいなと感じていました。あとは、良い面と悪</p>

H委員	<p>い面の両方がありますが、SNSの活用も若い世代からの意見表明の手段の1つではないかと思います。</p> <p>私が勤務しております幼児教育学科では、保育士を目指す学生のうち、約3分の1が男子学生です。学生たちの学習意欲や、真剣に講義を聞く姿勢を見ていると、多様な世代の学生が大学で学ぶことの意義を感じます。男子学生がお弁当を作っている姿などを見ると、社会も変化してきていると感じます。オンラインでの参加も可能なのではないかと考えます。</p>
会長	<p>本日は様々なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆様からのご意見を参考に、今後の進め方を検討してまいります。本日の予定事件は全て終了いたしました。</p> <p>以上を持ちまして、第1回岡谷市男女共同参画審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

## 5 閉会